

須恵第三小5年生94名の宿泊体験学習2日目、社会教育センター「きずなの森」で五感を使って自然観察とネイチャーゲームを行いました。前日からの雨で登山道が滑りやすくなっていることを心配しましたが、子どもたちはひよひよと身軽に歩いていました。ふりかえりでは「自然観察で木や草の名まえの由来を知った」「カモフラージュで、生きものたちは生きのびるために全力をつくしていると感じた」などの発表がありました。今回の活動が、体験学習の思い出のヒトコマになってくれたらいいですね。

スタッフ 樋口、藤原、高田、大熊、千田、丸山、水田、久保田、諸石、常藤 (報告)



もりもり体操
雨をふきとばします



きずなの森で自然観察

いい香りのする葉や
チクチクする葉
木の実もたくさん
みつけたよ



目かくしトレイル
目かくししてロープを伝って歩いたよ
鳥や虫の声、足元の土の柔らかさを感じた



目かくしを
はずした瞬間
目に入ったのは…
空をわけあう
ヒノキの樹冠に
「わあ〜！」
と歓声があがりました

カモフラージュ

生きものたちも
生きるのに必死
生きのびるための
知恵がすごいね



森林講話
森林の働きと林業
須恵町の森林率は40%



5年生から感謝のことは
楽しく森林のことを学びました
これから自然を大切にしたいと思います